

# 令和3年度事業報告

本報告は、定款第39条に基づき監事の監査を受け令和4年度第1回理事会にて承認を得ております。

## 公益社団法人日本栄養・食糧学会 令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）事業報告

### <概要>

平成23年9月1日の公益社団法人化からの第11期目として、4月1日より令和3年度の各事業をスタートさせた。6月5日にZoomを用いたオンラインで社員総会を開催し、令和2年度決算書の件につき議決するとともに、定款の一部改訂、および名誉会員・終身会員の推戴を行った。報告事項として令和3年度事業計画の件、同年度収支予算計画の件、令和2年度事業報告等の報告を承認した。

令和2年度事業報告、同年度決算書については令和3年6月25日に、また、令和3年度事業計画、同年度収支予算計画については令和3年3月28日に内閣府に報告した。

栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1事業）として、次の活動を行った。関東支部の担当による第75回年次大会を計画したが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、社員総会のみを6月5日にWeb開催し、前年度の事業報告、決算報告を審議するとともに、令和3年度の事業計画、予算を確定した。社員総会はオンラインで開催したが、事前に総会資料と議決権行使書を代議員（社員）に配布し、提出いただいたため、代議員の出席率は91.7%（111名/121名）となった。この社員総会終了後、多くの会員から学会発表の機会が欲しいとの要望が多く寄せられたため、7月3日・4日に関東支部の会員で構成された実行委員会が、オンラインの学術大会を開催した。参加者は、約1,415名（正会員696名、非会員397名、学生会員322名）となり、非常に盛況であった。また、プレスリリースするための話題性の高い演題について、トピックス賞を設け、29名に賞状と副賞を授与するとともに、学生の優秀な発表を審査し、学生優秀発表賞として10名の学生に賞状と副賞を授与した。

支部事業については、全支部において、それぞれに相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公2事業）においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行（第74巻2号～6号、第75巻1号）し、欧文誌JNSV刊行においては、日本ビタミン学会とともに構成しているJNSV編集委員会が中心となって、数年来検討を続けてきたペーパーレス化を実施し、その結果、サイテーションインデックスも徐々に上がり、現在2.0となっている。令和2年末には、欧文誌JNSVの編集にFANS(Federation of Asian Nutrition Societies)が加わり、国際展開が加速しつつある。

理事会を中心に、公益法人としてのガバナンスの向上、会員サービスの向上に努め、利益相反(COI)については、「栄養・食糧学研究の利益相反に関する指針」並びにその細則の改訂案について、本格運用を開始した。申告者の利便性向上の観点から、更なる制度改良を検討中である。また、年次大会参加者の利便性向上の観点から、講演要旨集のWeb公開を継続実施している。

加えて平成27年度に新設した技術賞の選考を行い、2件の授与を決定し、本学会における産官学連携のさらなる推進を図った。

若手会員の活性化を目指した事業の検討を、学会活動強化委員会を中心に進め、昨年度に引き続き、個人会員2名からの寄付を得て、若手研究助成の対象枠を数名とするとし、金額も30万円から30～50万円にするとともに、学生優秀発表賞を次年度も継続すべく準備を行った。

## I 会員の動き

### 1) 会員の状況（令和4年3月31日現在）

名誉会員	38名
終身会員	168名
正会員	2706名
学生会員	584名
団体会員	57件
賛助会員	69件（81口）
学会誌定期購読団体	102件

### 2) 令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）物故会員（敬称略）

名誉会員	：守田 哲朗
終身会員	：田中 治夫、名武 昌人、森田 雄平、吉田 勉
正会員	：久保 薫
学生会員	：源田 智美

### 3) 支部別会員数 令和4年3月31日付

令和4年3月31日付

会員種別 支部名	名誉会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	賛助会員 [口数]
北海道支部	0 (±0)	7 (±0)	90 (+9)	26 (-21)	1 (±0)	1[1] (±0)
東北支部	3 (+1)	11 (+1)	151 (-1)	37 (-9)	1 (±0)	0[0] (±0)
関東支部	20 (±0)	64 (+3)	1017 (-19)	164 (-36)	30 (-1)	57[69] (±0)
中部支部	2 (±0)	18 (±0)	335 (-9)	83 (+4)	4 (±0)	3[3] (±0)
近畿支部	5 (±0)	41 (+2)	600 (+23)	146 (-8)	9 (±0)	6[6] (±0)
中国・四国支部	2 (-1)	15 (+1)	280 (+5)	90 (+5)	9 (-1)	2[2] (±0)
九州・沖縄支部	6 (±0)	12 (+1)	229 (-3)	37 (-10)	3 (±0)	0[0] (±0)
海外	0 (±0)	0 (±0)	4 (-2)	1 (-1)	0 (±0)	0[0] (±0)
合計	38 (±0)	168 (+8)	2706 (+3)	584 (-76)	57 (-2)	69[81] (±0)

( ) 内は令和3年3月31日会員数に対する増減を示す。

## II 各種事業活動の推進報告

## <栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1）>

### 1) 大会事業

(1) 第75回日本栄養・食糧学会大会の開催(会頭 加藤 久典 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授)

令和3年6月5日(土) (オンライン開催) 総会・授賞式

令和3年7月3日(土) (オンライン開催) 特別講演・シンポジウム・ランチタイムセミナー

令和3年7月4日(日) (オンライン開催) 特別講演・シンポジウム・一般演題・学生優秀発表賞審査

一般講演 357題

参加者数 1415名

特別講演

「基礎から応用、そして基礎研究へと繋ぐ食品科学研究」

佐藤 隆一郎(東京大学大学院)

「両親の栄養が次世代の健康に与える影響とエピジェネティクス」

大隅 典子(東北大学大学院)

「天然代謝産物ベタイン(トリメチルグリシン)の可能性について」

吉川 武男(理化学研究所)

(2) 支部事業

#### ①北海道支部

\*第51回日本栄養・食糧学会北海道支部大会

令和3年12月19日(日) Zoomによるオンラインでの開催

世話人: 吉池 信男(青森県立保健大学)

東北支部大会と合同支部大会およびシンポジウム

テーマ: 「食品成分による免疫細胞の機能調節」

「低分子βグルカンによる腸管免疫の制御」

岩倉 洋一郎(東京理科大学)

「ポリメトキシフラボノイドの免疫調節作用を探る」

酒井 徹(徳島大学大学院)

「食や腸内細菌が持つ免疫制御機能の解明と健康科学への展開」

國澤 純(国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

参加者数 120名

一般講演 15題

\*日本栄養・食糧学会 北海道支部シンポジウム2022

令和4年3月5日(土) 北海道大学大学院農学研究院 (Zoomハイブリッド開催)

テーマ: 「北海道におけるこれからの栄養・食糧学」

世話人: 橋本 直人(帯広畜産大学)、渡辺 純(帯広畜産大学)

「食品由来難消化性成分の摂取による腸内細菌叢を介した健康増進」

永田 龍次(帯広畜産大学)

「腸内細菌叢による腸管粘膜免疫調節に寄与するmicroRNA」

逢坂 文那(北海道大学大学院)

「北海道の食資源の有効利用を意図したプロバイオティクス・腸内細菌研究からのアプローチ」

渡辺 純(帯広畜産大学)

「健康機能から見た未利用・廃棄水産資源の高度利用」

趙 佳賢(北海道大学大学院)

「水産物由来エーテル脂質の新たな健康機能性を探る」

別府 史章(北海道大学大学院)

「北海道産の農水産物の活用を目指した脂質代謝に関する基盤研究」

橋本 直人(帯広畜産大学)

参加人数 60名

#### ②東北支部

\*第55回日本栄養・食糧学会東北支部大会およびシンポジウム

令和3年12月19日(日) Zoomによるオンラインでの開催

世話人: 吉池 信男(青森県立保健大学)

北海道支部大会と合同支部大会およびシンポジウム

テーマ: 「食品成分による免疫細胞の機能調節」

「低分子βグルカンによる腸管免疫の制御」

岩倉 洋一郎(東京理科大学)

「ポリメトキシフラボノイドの免疫調節作用を探る」

酒井 徹(徳島大学大学院)

「食や腸内細菌が持つ免疫制御機能の解明と健康科学への展開」

國澤 純(国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

参加者数 120名

一般講演 15題

#### ③関東支部

\*第107回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

令和3年10月2日(土) Zoom開催

世話人: 岩槻 健(東京農業大学)

テーマ: 「異分野と融合する栄養・食糧学会の未来-最先端研究と若手研究者の奮闘-」

「消化管を活用した呼吸器機能再建」

武部 貴則(シンシナティー大学・横浜市立大学・東京医科歯科大学)

「過栄養・肥満においてナノ粒子が引き起こす炎症反応」

中村 能久(シンシナティー大学・東北大学)

「消化器における栄養素と危険物質のセンサー」

岩槻 健(東京農業大学)

「幹細胞の栄養制御機構」

白木 伸明(東京工業大学)

「フェニルケトン尿症の食事制限を緩和する液体肝臓開発への挑戦」

小島 伸彦(横浜市立大学)

「培養肉が拓く食肉3.0時代」

竹内 昌治(東京大学)

参加者数 322名(内 非会員 134名)

\*第108回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

令和4年2月19日(土) オンライン開催

世話人：矢作 直也（筑波大学）

テーマ：「【栄養シグナル】による生体の代謝制御」

「【栄養シグナル】の可視化から制御機構解明へ」

「栄養シグナルによる代謝型可塑性の制御」

「分岐鎖アミノ酸代謝を介したエネルギー代謝調節」

「大豆タンパク質が惹起する摂食応答による代謝改善」

「機能性表示食品の新展開」

参加者数 137名（内 非会員 80名）

矢作 直也（筑波大学）

日野 信次朗（熊本大学）

米代 武司（東京大学）

佐藤 隆一郎（東京大学）

山本 万里（農研機構）

#### \*第24回健康栄養シンポジウム

令和4年3月19日（土） Web開催

代表世話人：板倉 弘重（茨城キリスト教大学） 世話人：飯田 薫子（お茶の水女子大学大学院）

テーマ：「食品成分による健康機能の作用機序を知る」

「中鎖脂肪酸・ケトン体受容体による食・栄養シグナル」

木村 郁夫（京都大学大学院）

「ダイズ由来β-コングリシニンのメタボリックシンドローム改善作用」

古場 一哲（長崎県立大学）

「大麦由来β-グルカンの肥満関連指標改善効果とその作用機序」

青江 誠一郎（大妻女子大学）

「ビタミンEのbeyond antioxidant作用～ビタミンE同族体を中心に」

藤原 葉子（お茶の水女子大学）

「骨格筋の健康の維持・増進におけるカロテノイドの作用機構」

山地 亮一（大阪府立大学大学院）

参加者数 325名（内 非会員 231名）

#### ④中部支部

##### \*第78回日本栄養・食糧学会中部支部大会

令和3年9月18日（土）オンライン開催

「消化抵抗性デンプンおよび食物繊維に関する栄養生理学的研究」

森田 達也（静岡大学学術院）

「自然免疫を介した食による生体調節機構に関する研究」

近澤 未歩（名城大学）

若手シンポジウム「栄養学における代謝性疾患研究」

「脂質栄養とアルツハイマー型認知症」

細野 崇（日本大学）

「アンドロゲンの作用低下と高脂肪食による代謝疾患と生命予後への影響」

原田 直樹（大阪府立大学大学院）

「慢性炎症から紐解く代謝性疾患の病態メカニズム」

田中 都（名古屋大学環境医学研究所）

参加者数 73名（内 非会員 17名）

##### \*第79回日本栄養・食糧学会中部支部大会

令和3年11月27日（土）ウイックあいち・オンライン（Zoom）でのハイブリッド開催

会頭：小田 裕昭（名古屋大学大学院）

特別講演

「進行ステージからみた生活習慣病の運動と栄養管理」

山田 純生（名古屋大学大学院）

参加者数 46名（内 非会員 3名）

一般講演 12題

#### ⑤近畿支部

##### \*第60回日本栄養・食糧学会近畿支部大会

令和3年11月27日（土） Web開催

会頭：狩野 百合子（神戸女子大学）

テーマ：情報物質としての栄養-栄養・代謝物シグナル

「骨格筋機能と遺伝子発現調節-食品成分による筋機能改善効果-」

亀井 康富（京都府立大学大学院）

「脂肪酸受容体と栄養シグナル」

木村 郁夫（京都大学大学院）

参加者数 169名（内 非会員 0名）

一般講演 45題

##### \*第12回栄養学を志す若手のためのフォーラム

令和3年11月28日（日） Web開催

「分岐鎖アミノ酸（BCAA）の多様な生理作用」

下村 吉治（中部大学）

「食品・栄養機能における内臓感覚神経の重要性」

岩崎 有作（京都府立大学大学院）

参加者数 147名（内 非会員 120名）

#### ⑥中国・四国支部

##### \*第54回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会

令和3年10月30日（土）～10月31日（日）オンライン開催（Zoom会議形式）

会頭：岸田 太郎（愛媛大学大学院）

日本栄養改善学会四国支部学術総会との合同大会

特別講演

「食物繊維による腸管保護作用とその作用機序」

鈴木 卓弥（広島大学大学院）

「日本人の栄養と生活習慣病-疫学と予防対策」

磯 博康（大阪大学大学院）

参加者数 204名（内 非会員 101名）

一般講演 37題

#### ⑦九州・沖縄支部

##### \*令和3年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会

令和3年10月30日(土)、31日(日) (オンライン開催)

会頭: 佐藤 匡央 (九州大学)

特別講演会 「食事タンパク質の未来を考える」

「食肉の質を制御する新奇アイデア ~筋幹細胞に着目したアプローチ~」

「代替肉素材としてのダイズの有用性と望まれる特性」

「昆虫とタンパク質」

「食品タンパク質から派生する機能性ペプチド」

参加者数 74名 (内 非会員 28名)

一般講演 20題

鈴木 貴弘 (九州大学大学院)

穴井 豊昭 (九州大学大学院)

日下部 宜宏 (九州大学大学院)

長岡 利 (岐阜大学)

## 2) 大会事業準備

(1) 第76回日本栄養・食糧学会大会の開催 (会頭 芦田 均)

令和4年6月10日(金)

\*社員総会

\*授賞式、功労賞受賞者挨拶

\*日本栄養・食糧学会創立75周年記念講演会 2題

令和4年6月11日(土)~12日(日)

\*特別講演 2題

\*教育講演 4題

\*国際シンポジウム 1テーマ

\*医学系学会との合同シンポジウム 3テーマ

\*シンポジウム 17テーマ

\*市民公開シンポジウム 4テーマ

\*一般講演 503題

(2) 第77回日本栄養・食糧学会大会開催準備

令和5年5月12日(金)~14日(日)

北海道支部 (会頭 園山 慶 北海道大学大学院) が開催担当支部として準備を進めた。

(3) 第78回日本栄養・食糧学会大会開催準備

未定

## 3) 表彰事業および助成・助成推薦事業

本事業は、各種授賞等選考委員会並びに学会活動強化委員会を通じ展開された。

(1) 第1回各種授賞等選考委員会(7/2)がWeb開催され、事業方針・スケジュールを確認した。

(2) 第2回各種授賞等選考委員会(12/18)がWeb開催され、令和4年度表彰の功労賞3件、学会賞3件、奨励賞3件、技術賞2件、栄養・食糧学基金研究助成対象者2件、栄養・食糧学基金若手助成対象者3件を推薦し理事会に上申した。

(3) 学会活動強化委員会活動としては、

①学術企画の支援として学会活動強化費申請(6件)のメール審査を行い、修正後、再提出を求めたうえで全て承認した。

②栄養・食糧学基金研究助成・若手研究助成の審査を行い、各種授賞等選考委員会へ報告を行った。

③学生優秀発表賞の応募、選考を行った。

(4) 令和3年度表彰授与式開催

①令和3年度受賞者

功労賞 3件 石田 均 門脇 基二 宮澤 陽夫

学会賞 2件 森田 達也 吉田 博

奨励賞 3件 田中 照佳 近澤 未歩 山下 陽子

技術賞 2件 カゴメ株式会社(菅沼 大行、林 宏紀、松本 舞)  
株式会社明治(森藤 雅史、伊藤 恭子、市川 聡美、大庭 知慧、北出 晶美)

②令和3年度栄養・食糧学基金研究助成者

栄養・食糧学基金研究助成 井上 順 三上 奈々

栄養・食糧学基金若手研究助成 橋本 彩子 安田 純

(5) 令和4年度対象の各賞候補者の公募、栄養・食糧学基金の研究助成・若手研究助成対象者募集記事を学会誌第74巻4号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。栄養・食糧学基金 国際交流助成令和3年度後期の募集を学会誌第74巻3号・令和4年度前期の募集を74巻6号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。

(6) 表彰事業の協賛のため2企業・団体へ依頼し応諾された。

(7) 下記外部団体からの研究褒賞候補者推薦依頼・研究助成募集の周知を図った。

①研究褒賞候補者推薦依頼

天野エンザイム（株）/酵素応用シンポジウム研究奨励賞（公財）安藤スポーツ・食文化振興財団/安藤百福賞  
 （公財）飯島藤十郎記念食品科学振興財団/飯島藤十郎食品科学賞&飯島藤十郎食品技術賞  
 （公財）上原記念生命科学財団/上原賞（公財）SGH 財団/SGH 特別賞  
 （公財）木原記念横浜生命科学振興財団/学術賞慶應義塾医学振興基金/慶應医学賞  
 （公財）小林財団/小林賞（一財）材料科学技術振興財団/山崎貞一賞  
 （公財）杉浦記念財団/杉浦地域医療振興賞（公社）全日本病院協会（一社）日本病院会/山上の光賞  
 第一生命保険株式会社/保健文化賞（一財）東京顕微鏡院/遠山椿吉記念健康予防医療賞  
 （公財）内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞（一社）日本医師会/日本医師会医学賞・医学研究奨励賞  
 （独）日本学術振興会/日本学術振興会賞・育志賞  
 （公社）日本看護協会・ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ/ヘルシー・ソサエティ賞  
 （一財）バイオインダストリー協会/大賞・奨励賞福井県小浜市/杉田玄白賞  
 （公財）三島海雲記念財団/三島海雲学術賞（公財）森永奉仕会/森永奉仕会賞

②研究助成募集の周知

（公財）味の素の文化センター（公財）飯島藤十郎記念食品科学振興財団  
 一正蒲鉾株式会社（公財）医療科学研究所  
 （公財）上原記念生命科学財団うま味研究会  
 （公財）浦上食品・食文化振興財団（公財）エリザベス・アーノルド富士財団  
 大麦食品推進協議会カゴメ株式会社  
 （一財）旗影会（一財）キーコーヒー柴田裕記念財団  
 （一財）キャノン財団公益信託家政学研究助成基金  
 国立研究開発法人科学技術振興機構（公財）サッポロ生物科学振興財団  
 （一財）サンスター財団（一社）J ミルク  
 （公財）杉浦記念財団（公財）住友生命健康財団  
 （公財）ソルト・サイエンス研究財団（公財）タカノ農芸化学研究助成財団  
 （一財）田沼グリーンハウス財団（公財）ダノン健康栄養財団  
 （公財）東洋食品研究所（公財）内藤記念科学振興財団  
 （公財）日本科学協会（公財）ニッポンハム食の未来財団  
 （独）日本学術振興会日本ゴマ科学会  
 （公財）日本食品化学振興財団（独）農畜産業振興機構  
 （公財）ホクト生物科学振興財団（公財）本庄国際奨学財団  
 抹茶と健康研究会（公財）三島海雲記念財団  
 （公財）森永奉仕会やずや 食と健康研究所  
 （公財）山崎香辛料振興財団（公財）山田科学振興財団  
 （公財）ロッテ財団

(8) 外部団体への推薦

- ①(独)学術振興会  
 令和3年度育志賞  
 各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦
- ②IUFoST-Japan  
 IUFoST World Congress 派遣若手研究者助成  
 各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦
- ③公益財団法人山田科学振興財団  
 2022年度研究援助候補者  
 各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1件を学会として推薦

(9) 研究活動の奨励

第75回大会時に下記関連学術集会を支援

- ①栄養学若手研究者の集い
- ②油脂・コレステロール研究会、タマゴ科学研究会

4) 栄養科学・食糧科学に関する研究・調査事業

本事業は、下記2テーマで、健康・食品保健表示の検討は本年度より常置委員会として、栄養・食糧学用語に関する検討は平成28年度より常置委員会としてそれぞれの委員会で展開された。

以下各テーマについて主な進捗を報告する。

(1) 健康・食品保健表示の検討

本委員会の常置委員会としての位置付けを明確にするため、目的を検討するとともに、名称を「栄養成分表示・栄養教育検討委員会」から「健康・食品保健表示検討委員会」に変更した。

日本人の食事摂取基準(2020版)の普及啓発を行うとともに、第76回日本栄養・食糧学会大会に向けて「栄養表示と食品成分表の関連」に関するシンポジウムを企画した。

(2) 栄養・食糧学用語に関する検討

栄養・食糧学用語辞典(第2版)における見出し語ならびに説明文の検証を行い、ホームページへの改訂版掲載に向けて作業を行った。

## 5) 国際交流事業

- (1) 日本学術会議 IUNS の分科会関係  
第4回 IUNS 栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップを栄養・食糧学会、栄養改善学会、健康栄養研究所、日本学術会議で準備を進め、2021年12月11～12日に開催した。
- (2) 22nd IUNS-ICN 関係  
第22回国際栄養学会議の開催(2022年12月6～11日)に向けて、IUNS 本部と打ち合わせつつ、種々の準備を進めている。
- (3) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)  
FANS 事務局への協力を続け、第22回国際栄養学会議への協力を仰いだ。
- (4) International Union of Food Science and Technology (IUFOST) 関係  
IUFOST Japan と連携し、その事業を支援した。
- (5) 東京栄養サミット関係  
日本栄養学術連合と連携し、コミットメントを策定し、東京栄養サミット2021(2021年12月7～8日)においてコミットメントを表明した。
- (6) 第75回 日本栄養・食糧学会大会において、韓国食品栄養科学会(KFN)との国際シンポジウム(JSNFS & KFN Joint Symposium on Food Science and Health)を開催した。

## 6) 倫理審査事業

本事業は、倫理審査委員会を通じ展開されている。  
2021年度は申請が無かった。

## < 栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業(公2) >

### 1) 出版事業の推進

本事業に関しては、日本栄養・食糧学会誌編集委員会が担当するとともに、JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会および FANS との共同編集として発刊した。これらの学術誌の発刊は、(一財)学会誌刊行センターに委託している。

- (1) 日本栄養・食糧学会誌 第74巻2号～6号、第75巻1号

#### ① 投稿状況

令和4(2022)年3月31日現在 投稿数(うち採択数)

受付日	全投稿数	総説	報文	研究ノート	資料	速報	講座
令和2年4月	2(1)				1(1) <sup>注1</sup>	1(0)	
令和2年5月	2(1)		2(1) <sup>注2</sup>				
令和2年6月	3(3)	2(2) <sup>注3</sup>			1(1) <sup>注4</sup>		
令和2年7月	1(1)				1(1)		
令和2年8月	2(1)	1(0) <sup>注5</sup>		1(1)			
令和2年9月	5(5)	3(3) <sup>注6</sup>			1(1) <sup>注2'</sup>		1(1) <sup>注7</sup>
令和2年10月	2(2)	1(1) <sup>注8</sup>	1(1)				
令和2年11月	1(0)		1(0) <sup>注9</sup>				
令和2年12月	2(2)	2(2) <sup>注10</sup>					
令和3年1月	1(1)		1(1)				
令和3年2月	1(0)		1(0)				
令和3年3月	4(1)	1(1) <sup>注11</sup>	3(0) <sup>注12</sup>				
令和3年4月	4(2)		2(1)		1(0) <sup>注13</sup>		1(1) <sup>注14</sup>
令和3年5月	2(2)	1(1) <sup>注11</sup>			1(1) <sup>注12'</sup>		
令和3年6月	1(1)	1(1) <sup>注15</sup>					
令和3年7月	2(0)		2(0) <sup>注16</sup>				
令和3年8月	5(4)	3(3) <sup>注17</sup>	2(1)				
令和3年9月	7(5)	4(4) <sup>注18</sup>			3(1)		
令和3年10月	1(0)					1(0) <sup>注19</sup>	
令和3年11月	0						
令和3年12月	3(1・審査中)		2(1・審査中)	1(0) <sup>注16'</sup>			
令和4年1月	3(2)		2(1)	1(1)			
令和4年2月	2(0)		1(0)		1(0) <sup>注19'</sup>		
令和4年3月	2(審査中)		1(審査中)		1(審査中)		

※ 採否が確定していない論文がある月： 令和3年12月、令和4年3月

注1 過去に種別変更（研究ノート→資料）のうえでの再投稿を促しての不採択となったものが再投稿され、採択

注2,2' 1報は種別変更（報文→資料）のうえでの再投稿を促しての不採択となったものが再投稿され、採択

注3 2報とも食事摂取基準2020（第73回大会シンポジウム）の総説

注4 過去に種別変更（報文→資料）のうえでの再投稿を促しての不採択となったものが再投稿され、採択

注5 編集委員会から依頼をしたものではない総説

注6 令和2年度学会賞（1報）、奨励賞（2報）

注7 食品成分表2020に関する講座（文部科学省食品成分委員会）

注8 令和2年度技術賞

注9 著者により取り下げ（期間内の修正が難しいため）

注10 令和2年度奨励賞（1報）、技術賞（1報）

注11 食事摂取基準2020（第73回大会シンポジウム）の総説

注12,12' 1報は種別変更（報文→資料）のうえでの再投稿を促しての不採択、その後再投稿されて採択

注13 過去に不採択となった資料が大幅修正ののち再投稿されるも再度不採択

注14 食品成分表2020に関する講座2（文部科学省食品成分委員会）

注15 令和2年度学会賞

注16,16' 1報は種別変更（報文→研究ノート）のうえでの再投稿を促しての不採択、その後再投稿されるも再度不採択

注17 令和3年度奨励賞（2報）、技術賞（1報）

注18 令和3年度学会賞（2報）、奨励賞（1報）、技術賞（1報）

注19,19' 種別変更（速報→資料）のうえでの再投稿を促しての不採択、その後再投稿されるも再度不採択

\*令和2（2020）年度 投稿論文 25編

採択率 71%（取り下げ除く）

掲載可 17編（平均所要日数84日）

取り下げ 1編

掲載否 7編（平均所要日数27日）

審査中 0編

\*令和3（2021）年度 投稿論文 31編

採択率 57%（取り下げ及び審査中除く）

掲載可 16編（平均所要日数73日）

取り下げ 0編

掲載否 12編（平均所要日数43日）

審査中 3編

## ②発行状況

巻号	総説	報文	研究ノート	資料	速報	講座	書評	計
74-2	2	1	0	1	0	0	0	4
74-3	1	0	0	0	0	0	1	2
74-4	1	1	0	0	0	1	0	3
74-5	1	0	0	1	0	0	1	3
74-6	2	1	0	0	0	0	2	5
75-1	3	0	0	0	0	0	2	5
総計	10	3	0	2	0	1	6	22

## ③刊行状況

巻号	納本日	予定日
74-2	4月10日	4月10日
74-3	6月10日	6月10日
74-4	8月10日	8月10日
74-5	10月12日	10月10日
74-6	12月10日	12月10日
75-1	2月10日	2月10日

④編集委員会を令和3年7月12日、令和4年3月2日に開催した。

## (2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

### ①編集状況

日本ビタミン学会およびFANS(Federation of Asian Nutrition Societies)との共同編集 Vol.67No.2~No.6、Vol.68No.1の刊行

# JNSV編集委員会報告

2022年3月5日現在

理事会 資料提出日	Vol	年	分野別投稿数						分野別採択数						備考
			Total	V	N	F	Review	Note	Total	V	N	F	Review	Note	
3月13日	67	2021	39	5	30	4	2	5	21	8	11	2	1	7	67-2まで
7月17日			148	38	88	22	20	14	35	11	19	5	1	9	67-4まで
10月23日			214	57	125	32	24	24	47	14	27	6	1	9	67-5まで
1月29日			263	65	155	43	30	31	56	19	31	6	3	10	67-6まで
3月19日	68	2022	50	7	33	10	8	3	20	5	11	4	0	6	68-2まで

Total は、V、N、Fの合計。

(各号の内訳)							巻号
Total	V	N	F	Review	Note		
10	4	4	2	1	3		67-1
11	4	7	0	0	4		67-2
8	2	3	3	0	0		67-3
6	1	5	0	0	2		67-4
12	3	8	1	0	0		67-5
9	5	4	0	2	1		67-6
10	4	5	1	0	2		68-1
10	1	6	3	0	4		68-2

## J.Nutr.Sci.Vitaminol. 原稿状況 (2021年12月31日現在)

Vol.59	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
投稿数	12	14	17	12	13	10	16	11	7	11	9	12	144	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	80	*59-Suppl.を除く
掲載数		11		12		12		15		14		16		
Vol.60	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
投稿数	13	17	13	11	11	9	15	13	11	7	16	10	146	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	55	*IUNS報告を除く
掲載数		10		10		10*		12		9		14		
Vol.61	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
投稿数	16	4	16	16	23	19	19	13	14	18	14	12	184	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	75	
掲載数		15		14		12		10		11		13		
Vol.62	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
投稿数	14	22	23	19	19	17	20	11	15	16	26	17	219	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	62	
掲載数		11		10		8		10		14		9		
Vol.63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
投稿数	21	20	16	15	23	14	15	12	11	15	14	16	192	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	59	
掲載数		11		9		9		9		10		11		
Vol.64	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
投稿数	20	19	16	10	20	22	18	16	26	18	14	18	217	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	66	
掲載数		11		10		11		11		11		12		
Vol.65	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	2019
投稿数	17	16	33	22	19	17	24	13	23	17	16	28	245	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	74	
掲載数		15		15		10		10		12		12		
Vol.66	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	2020
投稿数	21	22	19	18	15	28	26	15	24	22	20	18	248	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	82	
掲載数		13		15		11		15		15		13		
Vol.67	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	2021
投稿数	15	25	23	26	24	29	16	21	25	16	16	27	263	
掲載数		No.1		No.2		No.3		No.4		No.5		No.6	56	
掲載数		10		11		8		6		12		9		



## JNSV投稿内訳および結果

Vol.	Year	Total No.*	V		N		F		R	Note		年間掲載数	頁
			投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	掲載数	投稿数	掲載数		
54	2008	154	20	16	103	57	31	8	3	23	11	81	531
55	2009	165	23	10	112	56	30	12	1	28	16	78	538
56	2010	172	29	11	115	44	28	13	1	25	12	68	470
57	2011	167	28	8	104	49	35	8	2	24	10	65	460
58	2012	153	33	11	107	43	13	11	1	28	18	65	466
59	2013	144	27	22	96	51	21	7	4	24	20	80	614
60	2014	146	29	11	90	42	27	13	3	27	11	66	471
61	2015	184	39	14	113	46	32	15	0	29	17	75	543
62	2016	219	33	15	156	38	30	9	2	19	9	62	451
63	2017	192	33	12	123	36	36	11	1	26	6	59	446
64	2018	217	37	15	146	37	34	14	4	29	13	66	501
65	2019	245	44	17	158	51	43	6	5	33	16	74	573
66	2020	248	68	22	148	38	32	22	4	26	15	82	607
67	2021	263	65	19	155	31	43	6	3	31	10	56	442

\*V, N, Fの合計。R: Review.

### 採択数・却下数 (2021.12.31 現在)

論文提出日	2015/1/1-2015/3/30 (旧システム)	2015/3/31-2015/12/31 (新システム)	合計	採択率
採択数	14	31	45	
却下数	16	87	103	
合計			148	30.41%
注) 新システムでは採択率＝採択数/採択数＋却下数になります。				
論文提出日	2016/1/1-2016/12/31			
採択数		63		
却下数		120		
合計			183	34.42%
論文提出日	2017/1/1-2017/12/31			
採択数		60		
却下数		117		
合計			177	33.90%
論文提出日	2018/1/1-2018/12/31			
採択数		77		
却下数		106		
合計			183	42.07%
論文提出日	2019/1/1-2019/12/31			
採択数		76		
却下数		135		
合計			211	36.02%
論文提出日	2020/1/1-2020/12/31			
採択数		68		
却下数		164		
合計			232	29.31%
論文提出日	2021/1/1-2021/12/31			
採択数		57		
却下数		158		
合計			215	26.51%

②特定分野の編集委員の負担が大きくなっているため、委員の増員を引き続き検討中。

③実際の採択率は26.5～29.3%である。採択までにかかる期間が長すぎることもなく順調に編集作業が行われている。  
(インパクトファクターは2.0)

④編集委員の交代(8名)

## 2) 広報事業

本事業は、広報委員会を通じ展開された。

(1) 会員向け情報の告知

学会内の動き、関連学術団体、関連機関（大学・官庁等）からの情報、依頼記事（募集・告知等）について、広報推進を行った。

① ホームページ管理業務委託業者を通じ、定期的及び緊急的に情報を掲載

② 会員向けメールマガジン「栄食ニュース」は1回/月のペースで発信

ホームページへの掲載の紹介及びタイムリーな記事掲載を行い、以下16号発信

2021-4(通算243号 4/12)、2021-5(通算244号 5/10)、2021-6(通算245号 6/10)、2021-7(通算246号 7/12)、

2021-8(通算247号 8/10)、2021-8臨時号(通算248号 8/19)、2021-9(通算249号 9/10)、2021-9臨時号(通算

250号 9/28)、2021-10(通算251号 10/11)、2021-11(通算252号 11/10)、2021-11臨時号(通算253号 11/25)、

2021-12(通算254号 12/10)、2022-1(通算255号 1/11)、2022-2(通算256号 2/10)、2022-3(通算257号

3/10)、2022-3臨時号(通算258号 3/25)

③ 国内学術団体からの事業関連の連絡・通知

\* 日本学術会議

日本学術会議発行メールニュース(No.745~No.792)の周知の実施

\* 日本医学会

シンポジウム等の開催周知協力の実施

### III 管理業務報告

(1) 内閣府からの通知・連絡対応

① 内閣府より

\* 公益法人メールマガジン(第119号~第140号)受理

\* 公益法人 information 様式チェック結果通知(提出可)(6/21)

\* 公益法人 information 「事業報告等の提出」受付完了通知(6/21)

\* 【公益法人 Information から】様式チェック結果通知(提出可)(6/30)

\* 【公益法人 Information から】定款改訂提出完了通知(6/30)

\* 【公益法人 Information から】様式チェック結果通知(修正要)(7/5)

\* 【公益法人 Information から】様式チェック結果通知(提出可)(7/5)

\* 【公益法人 Information から】定款改訂修正提出完了通知(7/7)

\* メール通知「事業計画書等の提出完了」(整理番号)の案内(3/30)

② 内閣府へ

\* 「国と特に密接な関係がある公益法人への該当性の有無」をHPに掲載(4/1)

\* 2020年度事業報告(6/21 オンライン提出)

\* 変更承認届(6/30 定款の改訂、他)

\* 令和4年度事業計画書等をオンライン提出(3/30)

\* アンケート対応

(2) 文部科学省

\* 令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について(6/3HP掲載)

(3) 厚生労働省

\* 医薬品・医療機器安全性情報報告制度の周知

\* 医薬品・医療機器安全性情報 No.382~No.390の周知依頼

(4) 農林水産省

\* 令和2年度食育推進施策(概要版)と食育白書(令和2年度食育推進施策)(5/31HP掲載)

(5) 日本学術会議

① 日本学術会議発行メールニュース(No.745~No.792)の周知

② 日本学術会議の活動と運営に関するご連絡

③ 「日本学術会議の在り方に関する政策討議とりまとめについて」(会長メッセージ)

④ 「持続可能な発展のための国際基礎科学年」に関わるロゴマーク活用をお願い

⑤ 【日本学術会議】会長談話「ロシアによるウクライナの侵攻について」

(6) 日本医学会・日本医学連合

① [ibunka-m]の周知

② [all-member]の周知

③ 日本医学会に関するアンケートの回答

④ 2021年日本医学会分科会一覧記事送付

⑤ 日本医学会「新型コロナウイルス感染症による他疾患等への影響調査研究」への協力をお願い(6/6)

⑥ 日本医学会連合2021年度定時社員総会(6/18)

⑦ 日本医学会「優性遺伝、劣性遺伝についての推奨用語について」(お伺い)(8/27)

⑧ 120周年記念事業「日本医学会創立120周年記念誌」第5部執筆の依頼

⑨ 日本医学会「日本医学会創立120周年記念誌第5部『日本医学会138分科会の歴史』」の件

⑩ 第 89 回日本医学会定例評議員会出席 (2/25)

⑪ 日本医学会連合臨時総会出席 (2/25)

(7) 関連団体との共催、協賛、後援の許可

- ・公益財団法人ダノン健康栄養財団「第 22 回ダノン健康栄養フォーラム」後援
- ・日本糖質学会「第 40 回日本糖質学会年会」共催
- ・公益財団法人不二たん白質研究財団「公開講演会—大豆のはたらき in 京都—人と地球を健康に—」後援
- ・日本ハイドロコロイド研究会「食品ハイドロコロイドセミナー2021」「第 32 回ハイドロコロイドシンポジウム」協賛
- ・静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会「第 26 回静岡健康・長寿学術フォーラム」後援
- ・日本バイオインダストリー協会「未来へのバイオ技術“勉強会”SDGs と未来食シリーズ 2」協賛
- ・公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「令和 3 年度『食育健康サミット』」後援
- ・食品化学新聞社「ifia JAPAN 2021—第 26 回国際食品素材/添加物展・会議」「HFE JAPAN 2021 第 19 回ヘルスフードエキスポ」後援
- ・日本糖質学会「第 41 回日本糖質学会年会」共催
- ・日本たまご研究会「第 16 回たまご研究会」後援
- ・公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間 2022」後援
- ・公益財団法人ダノン健康栄養財団「第 23 回ダノン健康栄養フォーラム」後援

(8) 利益相反 (COI) 関連

学会役員の COI 申告手続きについて Web 申告が出来るようになった。

COI 指針の一部を訂正し、平成 31 年 4 月 1 日より施行することになった。

JNSV の COI 管理指針作成し、令和元年 5 月の JNSV 編集委員会で最終確認の後、施行。それに伴い、JNSV 投稿規定も一部改訂。

## IV 総会、理事会等の開催状況

(1) 社員総会

令和 3 年 6 月 5 日 (土) 13:30 ~ 14:35 Web 会議

(2) 理事会

第 1 回理事会	令和 3 年 4 月 24 日 (土)	13:30 ~ 15:37	Web 会議
第 2 回理事会	令和 3 年 6 月 5 日 (土)	中止	
第 3 回理事会	令和 3 年 7 月 17 日 (土)	13:33 ~ 17:17	Web 会議
第 4 回理事会	令和 3 年 10 月 23 日 (土)	17:00 ~ 19:45	Web 会議
第 5 回理事会	令和 4 年 1 月 29 日 (土)	13:33 ~ 16:41	Web 会議
第 6 回理事会	令和 4 年 3 月 19 日 (土)	13:33 ~ 17:14	Web 会議

(3) 臨時理事会

令和 4 年 3 月 28 日 (月) 12:20 ~ 12:50 Web 会議

(4) 業務執行理事打合せ

第 1 回	令和 3 年 7 月 10 日 (土)	13:58 ~ 15:55	Web 会議
第 2 回	令和 3 年 10 月 15 日 (土)	17:03 ~ 19:07	Web 会議
第 3 回	令和 4 年 1 月 22 日 (土)	13:34 ~ 15:57	Web 会議
第 4 回	令和 4 年 3 月 12 日 (土)	13:30 ~ 16:00	Web 会議

(5) 名誉会員・顧問懇談会

令和 4 年 4 月 中止

(6) 栄養・食糧懇談会

第 1 回懇談会	令和 4 年 2 月 19 日 (土)	10:00 ~ 11:02	Web 会議
第 2 回懇談会	令和 4 年 3 月 12 日 (土)	17:35 ~ 18:30	Web 会議

(7) 名誉会員・終身会員推薦委員会

令和 4 年 1 月 22 日 (土) 14:10 ~ 14:25 Web 会議